

三川町の紹介

	みかわまち		〒997-1301 東田川郡三川町大字横山字西田85番地		TEL 0235 (66) 3111		FAX 0235 (66) 3138			
	三川町		類型	- 2	地域指定等	農工 電源 拠点都市				
	地名由来	合併3村を流れる赤川・藤島川・大山川の三川(さんせん)による。					町の木、花 櫻(げやき) 菜の花			
地勢	庄内平野のほぼ中央に位置し、北には最上川を隔てて鳥海山を仰ぎ、東に出羽三山を望む田園の町であり、町内を流れる赤川、藤島川、大山川の三川(さんせん)による豊かな水は大地を潤し、水田が町の面積の7割を占める穀倉地帯である。									
沿革	昭和30年1月1日 三川村設置(横山村、東郷村、押切村合併) 昭和43年6月1日 町制施行									
区分	人口(人)	世帯数(世帯)	高齢化率(%)	総面積	林野面積割合	可住地面積割合	D I D s 人口(平成12年国調)			
昭和40年国調	9,371	1,727	7.4	33.21km ² (県内43位)	—	89.6%	— 人(県内-位)			
昭和50年国調	8,383	1,786	11.7	昼夜間人口比(平成12年国調)	99.0%(県内10位)	人口密度(平成12年国調)	237.2人/km ² (県内10位)			
昭和60年国調	8,511	1,868	15.2	産業別就業人口(平成12年国調)		住民基本台帳人口(平成14年3月末)	有権者数(平成14年6月2日)			
平成2年国調	8,263	1,883	18.0	第一次産業	706人	17.0%	男	3,840人	男	3,016人
平成7年国調	8,188	1,993	22.3	第二次産業	1,597	38.5%	女	4,095	女	3,337
平成12年国調	7,879	1,988	25.9	第三次産業	1,839	44.4%	計	7,935	計	6,353
同上県内順位	33位	32位	25位	計	4,146	100.0	出生率(平成13年)		7.2‰(県内30位)	
農業粗生産額(平成12年)	345千円(県内25位)		製造品出荷額等(平成13年)		1,212千円(県内25位)		年間商品販売額(平成11年)		3,577千円(県内14位)	
三役	町長 佐藤 京一 (任期 平成15年 2月 9日 3期目)				議 会	議長 大瀧 助太郎		党派別議員数(平成14年6月1日)		
	助役 五十嵐 司 (任期 平成15年 3月 31日 1期目)					副議長 須藤 栄弘		無所属 15 日本共産党 1		
	収入役 齋藤 成也 (任期 平成18年 3月 31日 2期目)					議員定数 16人(法定定数 22人)		議員任期 平成15年7月31日		
行政組織機構	町長 〃 助役 〃 総務課・企画課・町民課・福祉課・農政課・建設課 農村環境改善センター 収入役 〃 収入役室						職員数(平成14年4月1日)			
	議会 〃 事務局		農業委員会 〃 事務局		公平委員会(委託)		一般行政	68人		
	教育委員会 〃 事務局		選挙管理委員会 監査委員		固定資産評価審査委員会		特別行政	24		
一部事務組合加入状況		山形県消防補償等組合(44市町村) 山形県自治会館管理組合(44市町村) 山形県市町村職員退職手当組合(9市31町村) 鶴岡市ほか六箇町村衛生処理組合(1市6町村) 月山水道企業団(2町) 山形県市町村交通災害共済組合(2市26町村) 東田川郡町村組合(7町村) 庄内広域行政組合(2市12町村) 鶴岡地区消防事務組合(1市6町村)								
協議会加入状況		庄内地区視聴覚教育協議会(2市12町村)								
財産区										
公社及び主要第三セクター		三川町土地開発公社 (株)みかわ振興公社								
特性を活かした行政活動と最近の状況		豊かな水と平坦かつ肥沃な地形から、水稻の単作地域として町の基幹産業である農業を中心にまちづくり施策を展開してきた。近年、高速交通網の整備等により、本町の果たすべき役割は地理的・経済的条件の変化に伴い、都市的機能を含めた新たなまちづくり施策の展開が求められている。厳しい経済情勢を踏まえ、さらなる農業の振興とともに、交通の要衝地としての役割を認識した交通ネットワークの充実、雇用の確保、居住環境の整備といった行政展開を図っていく必要がある。								
基本構想		第2次三川町総合計画 平成13年2月13日議決 計画期間 H13～22年度			基本計画		第2次三川町総合計画 平成13年2月13日 計画期間 H13～22年度			
行政方針等	「輝く人と大地 ハートフルタウン みかわ」を将来像とし、5つの基本目標を定めてまちづくりを進めています。				重 点 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業経営の安定と農村総合整備事業の推進 ・ 商工業の経営安定と活性化 ・ 国道7号三川バイパス、赤川長大橋架橋等国・県道の整備促進 ・ 少子・高齢化社会対応事業の充実 ・ 上・下水道等の生活基盤の整備 ・ 「いろり火の里」エリアの振興 ・ 「方言の里」推進事業 				
	<ul style="list-style-type: none"> 人と環境にやさしい安全で快適なまちづくり 共に助け合いだれもが安心して暮らせるまちづくり 人と技術を磨き町を支える産業のまちづくり 学び、ふれあい、輝く人と文化を育むまちづくり 知恵を活かし町民とともにぎざく風格のあるまちづくり 									

都市宣言等		「非核平和の町」宣言 「環境にやさしい町」宣言									
特色ある条例											
姉妹・友好都市		友好都市：三川村(新潟県) マクミンビル市(米国)									
普通 会計 決算 状況 (百万) (%)	区分	歳入			地方税	地方譲与税	地方交付税	国支出金	県支出金	地方債	その他
	11年度	5,775 (100.0)			605 (10.5)	52 (0.9)	1,864 (32.3)	222 (3.8)	252 (4.4)	1,862 (32.2)	918 (15.9)
	12年度	4,180 (100.0)			593 (14.2)	53 (1.3)	1,931 (46.2)	251 (6.0)	263 (6.3)	486 (11.6)	603 (14.4)
	13年度	3,819 (100.0)			622 (16.3)	53 (1.4)	1,868 (48.9)	91 (2.4)	193 (5.1)	399 (10.4)	593 (15.5)
	区分	歳出			人件費	物件費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	公債費	その他
	11年度	5,637 (100.0)			919 (16.3)	500 (8.9)	281 (5.0)	449 (8.0)	2,327 (41.3)	504 (8.9)	657 (11.7)
	12年度	4,014 (100.0)			895 (22.3)	445 (11.1)	109 (2.7)	361 (9.0)	1,091 (27.2)	589 (14.7)	524 (13.1)
	13年度	3,680 (100.0)			885 (24.1)	472 (12.8)	115 (3.1)	365 (9.9)	652 (17.7)	582 (15.8)	609 (16.6)
	区分	形式収支	実質収支	標準財政規模	地方債現在高	積立金現在高	実質収支比率	財政力指数	公債費比率	起債制限比率	経常収支比率
	11年度	138	138	2,417	6,206	977	5.7	0.280	14.7	9.4	80.8
	12年度	166	166	2,433	6,264	859	6.8	0.269	15.3	9.1	81.9
	13年度	138	138	2,445	6,243	938	5.7	0.264	15.8	9.9	82.8
	公共施設 設備状況	道路延長	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率		下水道等普及率		し尿衛生処理率	ごみ焼堆処理率
117 km		46.1%	97.2%	100.0%	100.0%		85.9%		100.0%	76.4%	
公営住宅等		公園	人口一人当り公園面積	病院	診療所	公民館	保育所	児童館	幼稚園		
34戸		11ヶ所	7.0㎡(行政区域内)	-	4ヶ所	2館	1ヶ所	-	1園		
小学校	中学校	高等学校	高専短大	大学							
3校	1校	-	-	-							
行事・祭等	菜の花まつり 夏まつり 秋まつり 全国方言大会										
名所・旧跡等	山の神のケヤキ 横山城跡 蛇二オ										
特産品・名物	米 メロン 米おこし しそ巻 乾麺										
主要企業等	(株)板垣鉄工所 (株)三洋 (株)ニシカワ (株)ヨロズエンジニアリング イオン(株)三川ショッピングセンター										
郷土出身者	故 加藤セチ(理学博士) 奥泉光(作家)										
市町村振興協会 資金充当事業	いろり火の里事業(H元~3) 消防ポンプ自動車整備事業(H5) ふれあい館等整備(H6) 屋内多目的運動施設建設事業(H12~13)										

三川町政の現状・方針等（概要）

1 . 町の概要

（1）沿革

昭和30年「横山村」「東郷村」「押切村」の3村が合併し「三川村」となる。
昭和43年 町制施行により「三川町」となり今日に至る。

（2）地勢

庄内平野のほぼ中央に位置し、総面積は33.21km²である。

町の名前の由来ともなる3つの川のうち、一級河川「赤川」が町の中央を縦貫し、藤島川、大山川の豊かな水は大地を潤し、総面積の約7割を田畑が占める平坦で肥沃な地勢を形成している。

また、庄内空港、山形自動車道インターチェンジに近接し、国道7号三川バイパスの整備や赤川長大橋（田田大橋）架橋工事の着手など、交通の要衝地として、地域発展のための基盤づくりが進められている。

（3）人口

平成14年12月末現在の人口は7,917人、世帯数は2,046世帯である。

総人口に占める65歳以上の高齢化率は、平成14年3月末時点で27%となっている。

産業別就業人口の割合は、第1次産業17%、第2次産業39%、第3次産業44%である。（平成12年国勢調査）

昼間流入・流出口については、企業などの進出により、昼間流入人口が流出口を上回る状況となっている。

（4）財政

平成13年度普通会計決算の歳入総額は38億1千9百万円、同歳出総額は36億8千万円である。

財政指標として公債費比率15.8%、起債制限比率9.9%、財政力指数0.264などとなっている。

2. まちづくり・将来構想

(1) 第2次三川町総合計画(目標年次 平成22年度)

『基本構想』

- ・基本理念 「人と自然と文化が調和した真に豊かなまちづくり」
- ・まちの将来像 「新世紀 確かな前進 臨空田園都市 みかわ」
- ・シンボルテーマ「輝く人と大地 ハートフルタウン みかわ」

『基本計画』

人と環境に優しい安全で快適なまちづくり

主な施策・事業

国道7号三川バイパスの建設促進	魅力ある住宅団地の整備
赤川長大橋「田田大橋」の架橋促進	景観の形成と公園の整備
両田川橋の架替促進等	ごみの減量化とリサイクルの推進

共に助け合い誰もが安心して暮らせるまちづくり

主な施策・事業

子育て環境の充実	健康づくり活動の推進
幼児教育保育施設の充実	高齢者福祉の充実
医療体制の整備充実	バリアフリーのまちづくり

人と技術を磨き町を支える産業のまちづくり

主な施策・事業

複合経営の推進	農村総合整備事業の推進
農業法人化の推進	工業団地の拡張整備
集落農業の振興と経営体の育成	大型商業施設を中心とした商業地域の整備推進

学び、ふれあい、輝く人と文化を育むまちづくり

主な施策・事業

保・幼・小・中連携による教育研究活動の推進	芸術文化活動の振興・支援
東郷小・三川中の改築の推進	地域間交流の推進
生涯学習の推進	国際交流の推進

知恵を活かし町民とともにきづく風格のあるまちづくり

主な施策・事業

町民参画のまちづくりの推進	情報公開の推進
地域づくり活動の推進	情報ネットワークの構築
町内会活動の支援	広域行政の推進

(2) 三川町土地利用調整基本計画

三川町全域を対象とし、地区まちづくり会議などでの住民の意見を聞きながらまとめたもので、自然環境の保全を図りながら、今後の都市的土地利用も含めた総合的な土地利用の基本方向を示したものである。

東部地区（赤川右岸地区）

なの花温泉田田などの「いろり火の里エリア」一帯を中心とした交流促進用地、各種公共機関等の集積をはかる公共機関ゾーン、定住人口の増加を目指した住宅用地などの設定により、利便性の高い居住環境を目指していく。

西部地区（赤川左岸地区）

都市的土地利用など開発ポテンシャルが高い地域であり、庄内中央拠点地区や大型商業施設が進出した区域周辺の商業集積を図るとともに、雇用の創出を目指すための新たな工業団地などの産業業務用地も配置している。

また、庄内中央拠点地区を含むこのエリア一帯を「庄内シンボルゾーン」と位置付け、広域的な交流用地としての都市的土地利用の誘導を促進していく計画である。

緑のネットワークの形成

町の中央を流れる赤川を中心に「緑のネットワーク」という自然景観を活かした親水空間の整備を図る。

3. まちの特性・資源

(1) 農業

本町の農業は豊富な水と肥沃な土地により、水稻の単作地帯として発展してきた。農家一戸当りの耕作面積や農業粗生産額においては県内でもトップクラスにあり、今も基幹産業としての位置付けは変わらないものである。

農業を取り巻く環境は厳しいものの、今後とも農地の利用集積の推進、低コスト農業や複合化の推進による生産性の向上、後継者や担い手の育成、米を補完する新たな農作物の振興、そして付加価値農産物の開発や販路開拓を進めながら農業施策を展開していくものである。

(2) 工業

既存の工業団地として、落合及び天神堂工業団地があり、現在新たな工業団地の計画を進めている。交通アクセスの利便性など高い立地条件を活かし、各種企業の積極的な誘致を行いながら、新たな雇用の創出を図っている。

(3) 商業

いろり火の里周辺開発とともに地元の後継者グループが共同店舗を設立し、地域密着型の消費者にとって魅力ある店作りに取り組んでおり、町としても経営体制の確立に向けた総合的な支援体制の充実を図っている。

また、イオン三川ショッピングセンターが本町の猪子地区に一昨年8月オープンし、庄内のみならず最上地方や近県の秋田や新潟などからの利用客も多い状況である。

(4) 観光

単に見物して回るだけの「周遊型観光」から目的意識をもった「参加」、「体験」など行動型の楽しみを重視した観光に変化しており、本町においても「グリーンツーリズム」などの地域資源を活用した取り組みを行っている。

また、平成2年にオープンした「なの花温泉田田」は、年間約28万人の利用者があり、宿泊施設の整備によりさらに利用者が増加している状況にある。

(5) 主な特色ある施設等

「いろり火の里」施設

文化館「なの花ホール」・なの花温泉「田田」

宿泊研修施設「田田の宿」・農村文化交流館「マイデル」

道の駅「庄内みかわ」として指定されており、多くの利用者で賑わう。
みかわ保育園・幼稚園 / 全国でも数少ない保育園、幼稚園一体施設

アスレなの花 / 全天候型の屋内多目的運動施設

アトク先生の館 / 歴史的建造物を活用した生涯学習施設

その他 / 町の施設以外の各種公共機関の集積

(山形県庄内総合支庁、山形県消防学校、庄内自動車検査登録事務所など)

(6) 特色あるイベント・人づくり

「菜の花まつり」「夏まつり」「みかわ秋まつり」「全国方言大会」

三川トピア創造委員会

昭和61年発足、全国方言大会の開催以外にも、本町のまちづくりに様々な提言を行い成果を上げてきた地域づくり集団。

国際交流による人材育成

アメリカテネシー州マクミンビル市との中学生の相互訪問

遊学未来塾推進事業(海外視察研修支援)

主な著名人

・理学博士 加藤セチ(名誉町民)

家庭の主婦として、日本で初めての理学博士。

・作家 奥泉光

平成6年芥川賞受賞。現在、朝日新聞「新・地底旅行」連載中。

平成15年度国民文化祭において、同氏の作品「坊ちゃん忍者幕末見聞録」を創作人形芝居という形で上演予定。

4 . 新市のまちづくりに対する期待と役割

(1) 新市のまちづくりに対する期待

- ・ 地域特性を活かした「人」と「自然」が共生するまちづくり
- ・ 地域が自立できる経済基盤の充実を目指した、生産、物流などの基盤づくり
- ・ 地域の均衡ある発展と交流拠点の整備による交流の促進
- ・ 個性的で魅力ある地域の形成のための地域コミュニティの活性化

(2) 三川町の位置付けと役割

- ・ 庄内中央拠点地区の設定

『庄内地方拠点都市地域基本計画』(庄内広域行政組合)において、地域の都市軸強化のための拠点地区として設定。

- ・ 交通アクセスの利便性

鶴岡、酒田両市の中間点に位置し、庄内空港や高速道路のインターチェンジに近接した交通の要衝地であるとともに、庄内北部地域と接している地域特性を持つ。

環日本海東北沿岸地域の交流拠点づくりを目指すとともに、雇用の創出を図りながら、地域経済・産業基盤の充実に努める。また、地域資源などの活用による個性的で魅力ある地域形成に資する。

庄内中央拠点地区の推進

広域的交流拠点の形成

産業業務拠点(農工団地)の整備

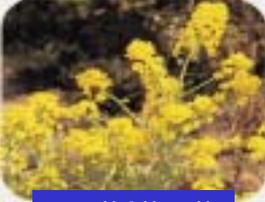
地域資源の活用(農業振興、いろり火の里など)



ハートフルタウン **みかわ**

輝く人と大地
 HEARTEFUL TOWN MIKAWA
 ハートフルタウンみかわ

- 新世紀 確かな前進 臨空田園都市 みかわ -



町の花「菜の花」



町章



町の木「けやき」

ハートフルタウン **みかわ**

三川町の沿革

横山村・東郷村・押切村

↓

1955年(昭和30年)1月1日
東田川郡三川村誕生

↓

1968年(昭和43年)6月1日
中核的田園都市として町制施行
「三川町」

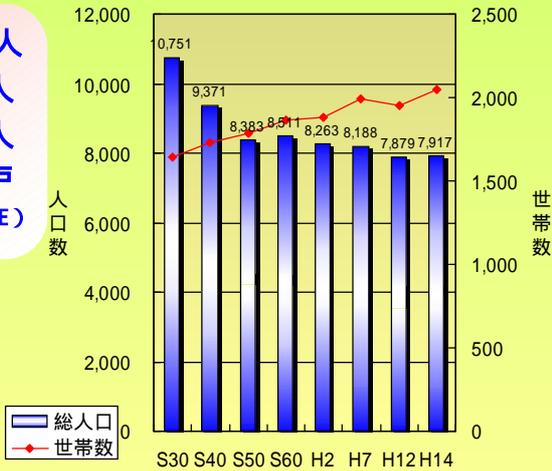
ハートフルタウン **みかわ**

三川町の地勢

- 総面積
33.21km²
- 町域
庄内平野のほぼ中央に位置し、3つの川(赤川、藤島川、大山川)が流れる
- 土地
総面積の70%を美田が占める平坦で肥沃な地形
- 交通
庄内空港、高速道に隣接し、国道7号三川バイパス等の整備充実

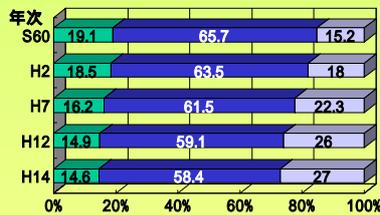
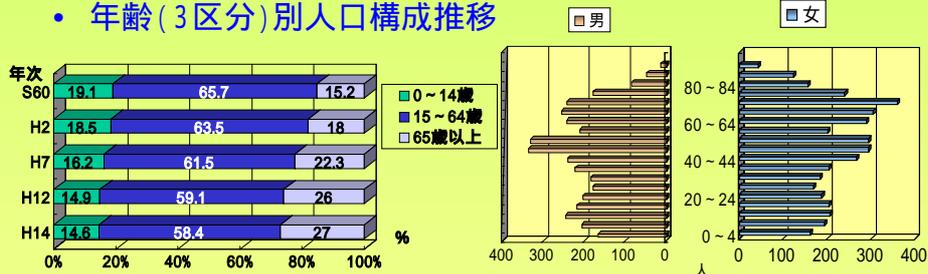
三川町の人口の推移

- 人口 7,917人
 - 男 3,844人
 - 女 4,073人
- 世帯数 2,046戸
(平成14年12月末現在)



三川町の年齢別人口の推移

- 年齢(3区分)別人口構成推移



(単位:人)

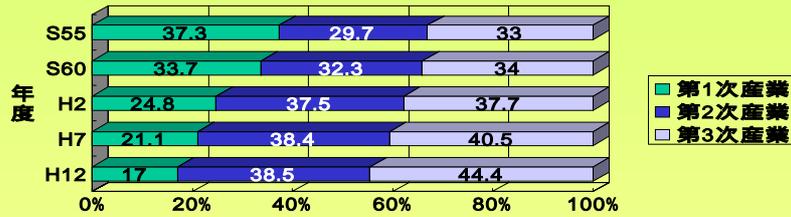
	S60	H2	H7	H12	H14
0~14歳	1,630	1,531	1,328	1,176	1,161
15~64歳	5,590	5,246	5,032	4,659	4,630
65歳以上	1,291	1,486	1,828	2,044	2,144

数値は国勢調査によるが、H14についてはH14.3.29のものとする。

- 年齢別構成表

三川町の産業別就業人口の推移

- 産業(3部門)別人口構成推移

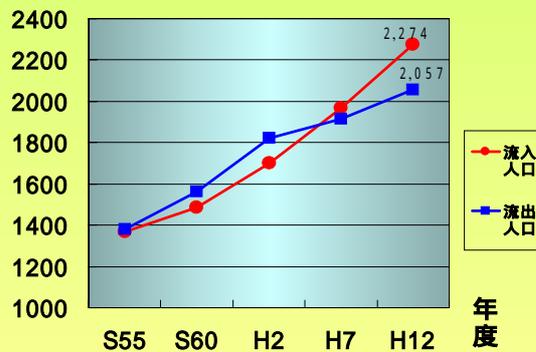


	(単位:人)				
	S55	S60	H2	H7	H12
第1次産業	1,698	1,557	1,116	937	706
第2次産業	1,348	1,488	1,684	1,705	1,597
第3次産業	1,500	1,571	1,691	1,796	1,839

数値は国勢調査による。

三川町の昼間流入・流出人口の推移

- H12昼間流入・流出人口

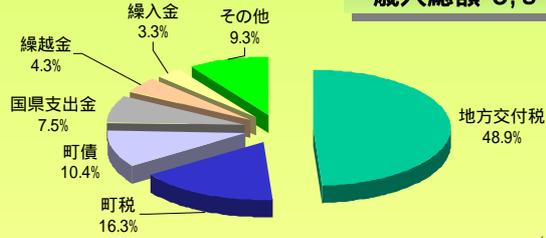


三川町の財政状況

- 平成13年度普通会計決算状況及び財政指標

歳入

歳入総額 3,819百万円



(単位:百万円)

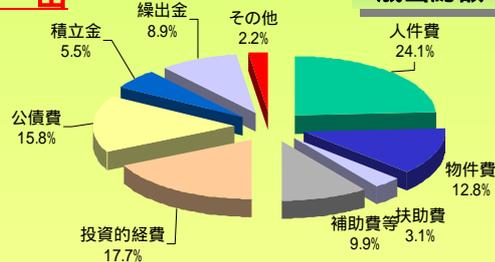
区分	地方税	地方譲与税	地方交付税	国県支出金	地方債	その他
H13	622	53	1,868	284	399	593

三川町の財政状況

- 平成13年度普通会計決算状況及び財政指標

歳出

歳出総額 3,680百万円



(単位:百万円)

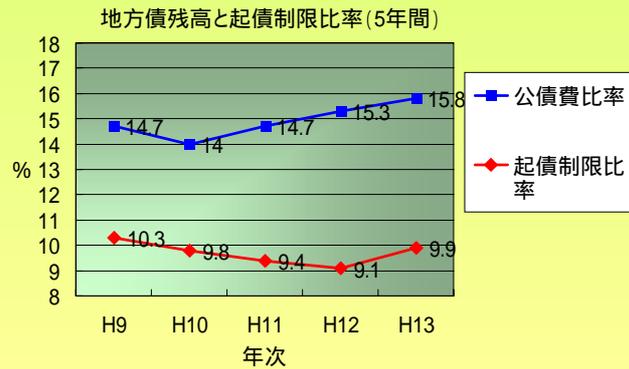
区分	人件費	物件費	扶助費	補助費等	投資的経費	公債費	その他
H13	885	472	115	365	652	582	609

三川町の財政状況

• 各財政指標

(平成13年度決算統計より)

公債費比率 15.8%	起債制限比率 9.9%
経常収支比率 82.8%	財政力指数 0.264



まちづくり・将来構想

【第2次三川町総合計画】



町の現況と課題

少子高齢化



グローバル
化の進展



町の現況と課題

農村環境の保
全と共生



高度情報化
の進展



町の現況と課題

生活様式の
多様化



行政システ
ムの変化



まちづくり座談会(現地説明風景)

基本理念

新世紀 確かな前進 臨空田園都市 **みかわ**

人と自然と文化が調和した
真に豊かなまちづくり

まちの将来像

輝く人と大地 ハートフルタウン みかわ

新世紀 確かな前進 臨空田園都市 みかわ

自然

心やすらぐ
美しいまち

共生

人

心ふれあう
優しいまち

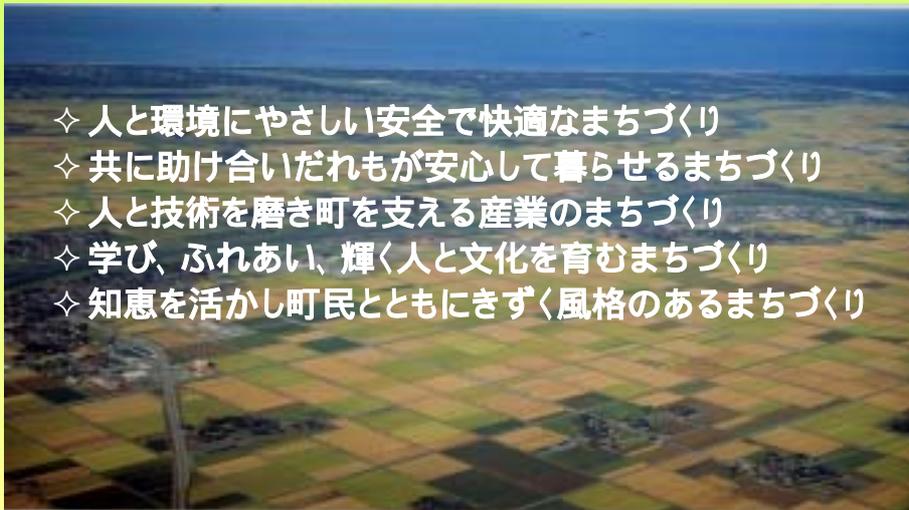
自立

未来

創造と交流の
賑わいのまち

第2次三川町総合計画基本計画

- ◇ 人と環境にやさしい安全で快適なまちづくり
- ◇ 共に助け合いたれもが安心して暮らせるまちづくり
- ◇ 人と技術を磨き町を支える産業のまちづくり
- ◇ 学び、ふれあい、輝く人と文化を育むまちづくり
- ◇ 知恵を活かし町民とともにきづく風格のあるまちづくり



人と環境にやさしい安全で快適なまちづくり

土地利用 道路・橋梁・交通 情報・通信
廃棄物処理 住宅 公園・緑地 上水道
景観・環境美化 下水道 防災 防犯
交通安全 消防・救急 河川・治水
克雪・利雪 エネルギー 消費者育成



山形自動車道



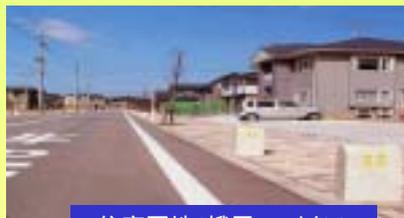
農業集落排水処理場

人と環境にやさしい安全で快適なまちづくり

- ◆ 国道7号三川バイパス建設促進
- ◆ 赤川長大橋「田田大橋」架橋・両田川橋架橋促進



国道7号三川バイパス



住宅団地(蛾眉ニュータウン)

- ◆ 魅力ある住宅団地整備
- ◆ 景観形成・公園緑地整備
- ◆ ごみ減量化・リサイクル

共に助け合いだれもが安心して暮らせるまちづくり

医療 健康づくり 地域保健
地域福祉 高齢者福祉 児童福祉
障害(児)者福祉 勤労者福祉
社会保障



共に助け合いだれもが安心して暮らせるまちづくり

- ◆ 子育て環境の充実
- ◆ 幼児教育保育施設の充実
- ◆ 医療体制の整備充実
- ◆ 健康づくり活動の推進



みかわ保育園・幼稚園



乳幼児検診

- ◆ 高齢者福祉の充実
- ◆ バリアフリーのまちづくり
- ◆ 保健・医療・福祉の総合的なサービスシステムの構築

人と技術を磨き町を支える産業のまちづくり

農業の振興
商業の振興

工業の振興
観光の振興



人と技術を磨き町を支える産業のまちづくり

- ◆ 複合化経営の推進
- ◆ 農業法人化の推進
- ◆ 集落農業の振興と経営体の育成
- ◆ 農村総合整備事業の推進



- ◆ 工業団地の整備拡張
- ◆ 大型商業施設を中心とした商業地域の整備推進
- ◆ 広域的な観光拠点づくりの推進

学び、ふれあい、輝く人と文化を育むまちづくり

生涯学習 幼児教育 学校教育
社会教育 スポーツ・レクリエーション
文化 地域間交流 国際交流



学び、ふれあい、輝く人と文化を育むまちづくり

- ◆ 保・幼・小・中連携教育活動の推進
- ◆ 東郷小・三川中の改築推進
- ◆ 生涯学習の推進



ざっこしめ(生涯学習)



中学生の相互交流

- ◆ 芸術文化活動の振興・推進
- ◆ 地域間交流の推進
- ◆ 国際交流の推進

知恵を活かし町民とともにきずく風格のあるまちづくり

町民参画
コミュニティ
財政

男女共同参画社会
行政
広域行政



知恵を活かし町民とともにきずく風格のあるまちづくり

- ◆ 町民参画のまちづくりの推進
- ◆ 地域づくり活動の推進
- ◆ 町内会活動の支援



地域づくりフォーラム



情報化の推進

- ◆ 情報公開の推進
- ◆ 情報ネットワークの構築
- ◆ 広域行政の推進

土地利用構想

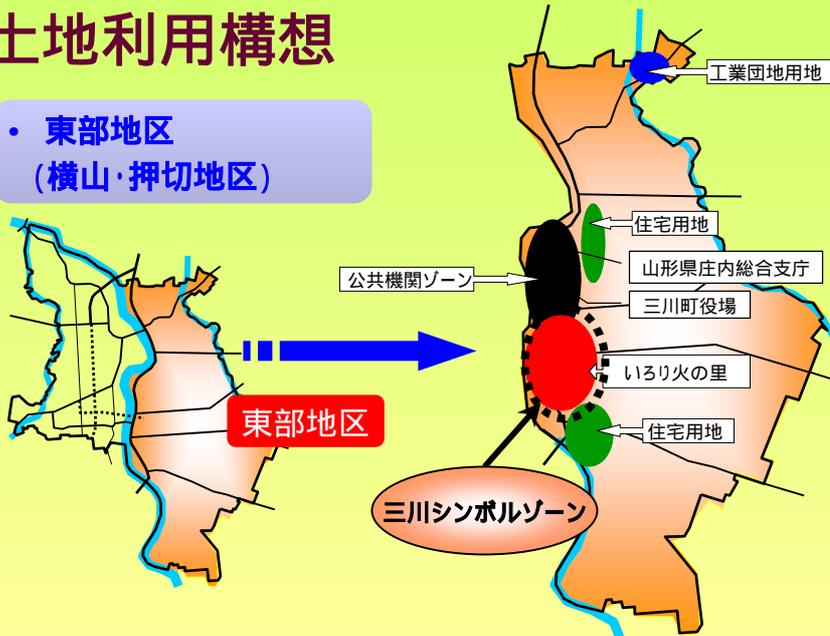


- 土地利用調整基本計画
(平成12年3月策定)

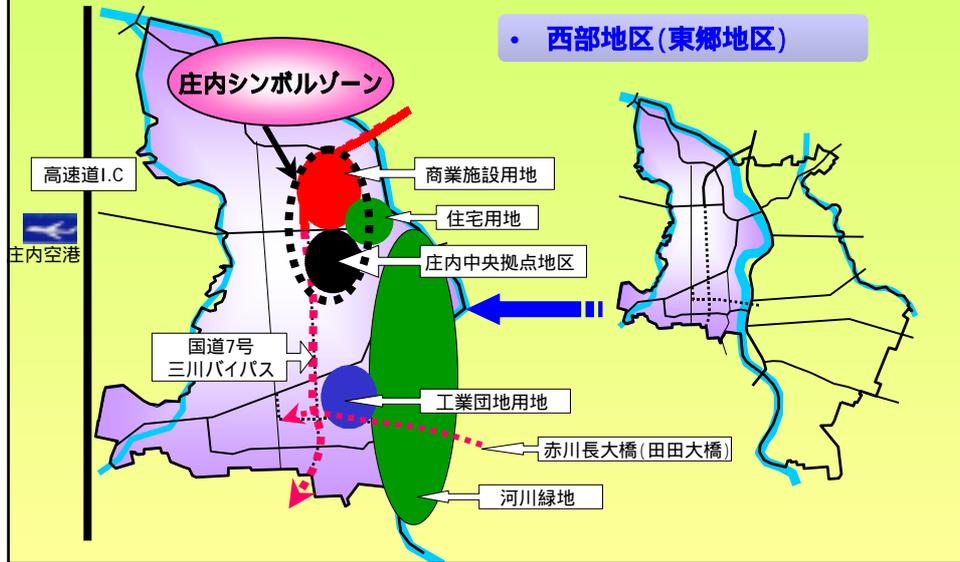


土地利用構想

- 東部地区
(横山・押切地区)



土地利用構想



地域の特性・資源



H15 開通予定「国道7号三川バイパス」鶴岡方面より

農業

施策の方向

- 農地の利用集積
- 生産性の向上
- 後継者・担い手の育成
- 農産物加工・販路拡大



複合化に向けた軟白ねぎの収穫



ラジコンヘリによる防除



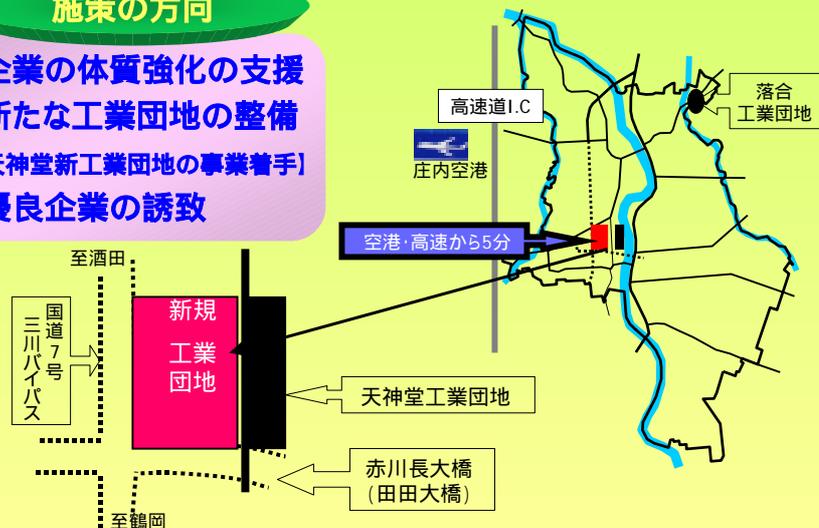
農村婦人グループの「夕市」

工業

施策の方向

- 企業の体質強化の支援
- 新たな工業団地の整備
【天神堂新工業団地の事業着手】
- 優良企業の誘致

三川町工業団地配置図



商業

施策の方向

- ・ いろり火の里周辺の開発と地域密着型共同店舗の支援
- ・ 大型ショッピングセンター周辺の拡充



三川SC開発協同組合「ラコス」



町の特産品



イオン三川SC

観光

施策の方向

- ・ 「いろり火の里エリア」の観光基盤の整備
- ・ 道の駅「庄内みかわ」の機能充実
- ・ 体験型観光の推進

田植え体験



グリーンツーリズム



道の駅情報コーナー



そば打ち体験

クアロマン田園リゾート「いろいろ火の里」



文化館「なの花ホール」



宿泊研修施設「田田の宿」



なの花温泉「田田」



農村文化交流館「マイデル」

主な公共施設



幼児教育保育施設
「みかわ保育園・幼稚園」

屋内多目的運動施設
「アスレなの花」



文化交流館
「アトク先生の館」

主な公共機関

公設庄内青果市場



- ◆ 東北陸運局山形陸運支局庄内自動車検査登録事務所
- ◆ 公設庄内青果物地方卸売市場
- ◆ 花卉地方卸売市場
- ◆ 庄内広域行政事務所

- ◆ 山形県庄内総合支庁
- ◆ 山形県消防学校・防災学習館
- ◆ 山形県工業技術センター - 庄内試験場
- ◆ 庄内保健所
- ◆ 山形県企業局北部発電管理事務所



公設庄内青果市場・せり風景

三大イベント



夏まつり



菜の花まつり



秋まつり

全国方言大会

まちを思う“ひと”たちが生んだ、
魅力ある個性豊かなまちづくり
「三川発 方言文化の継承と創造」



人づくり

地域づくり、まちづくり提言団体
「三川トピア創造委員会」
「青友」「来夢来人」など



国際化に対応した
人材育成
「アメリカ・テネシー州
マクミンビル市中学生との相互訪問」
「遊学未来塾推進事業」

人づくり



加藤 セチ 理学博士

明治6年生、理科学研究所に入所
家庭の主婦としては日本初の理学
博士、ガンの病原体を研究
加藤家は羽黒町川代開拓の先駆者
名誉町民



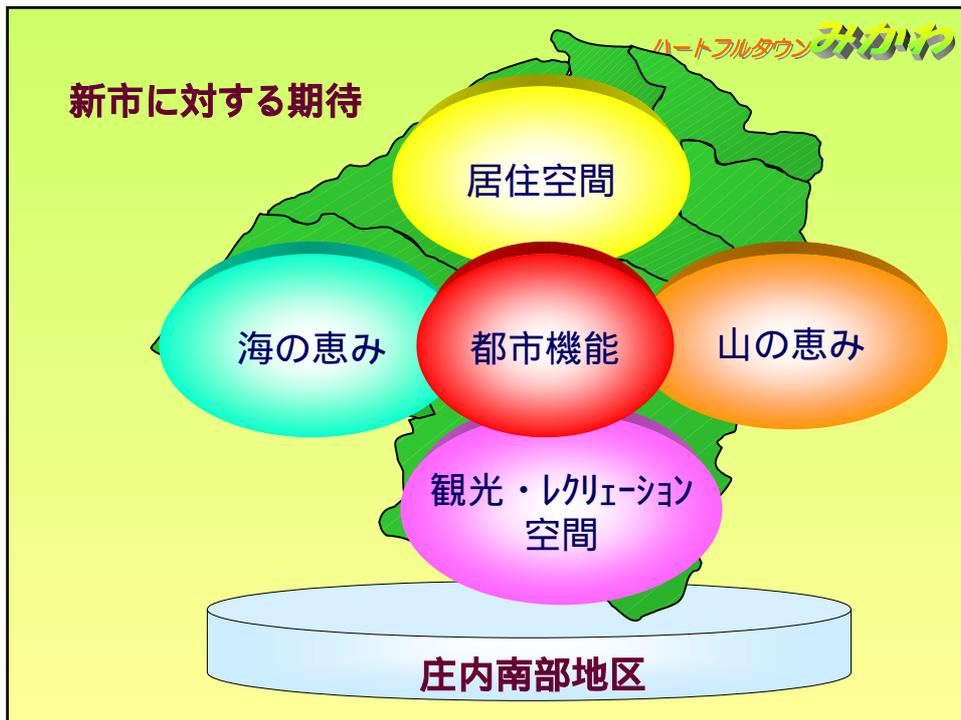
奥泉 光 作家

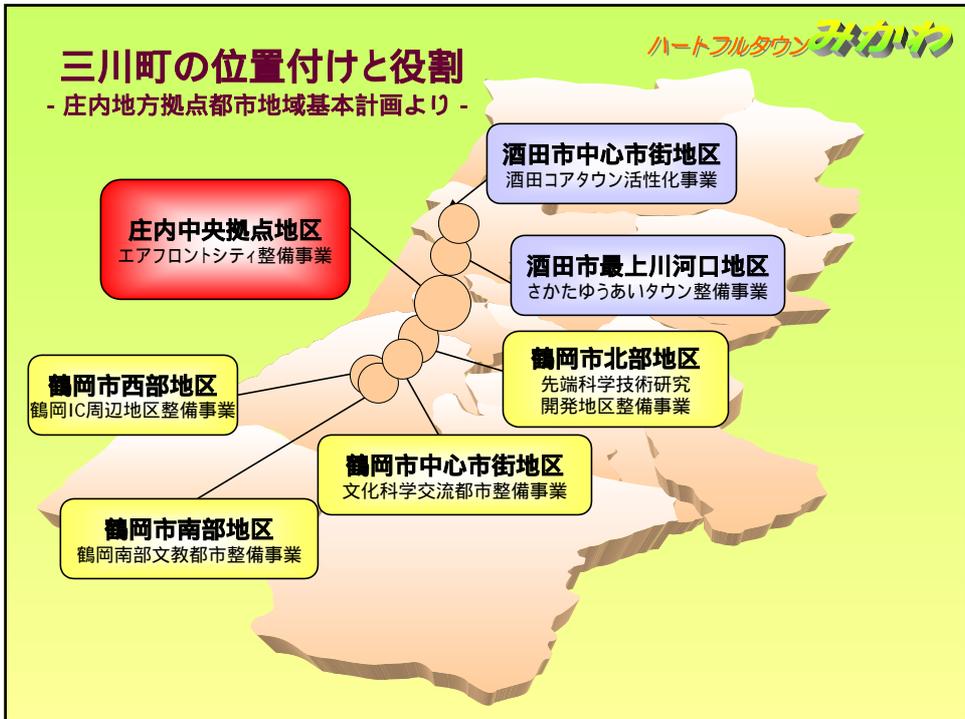
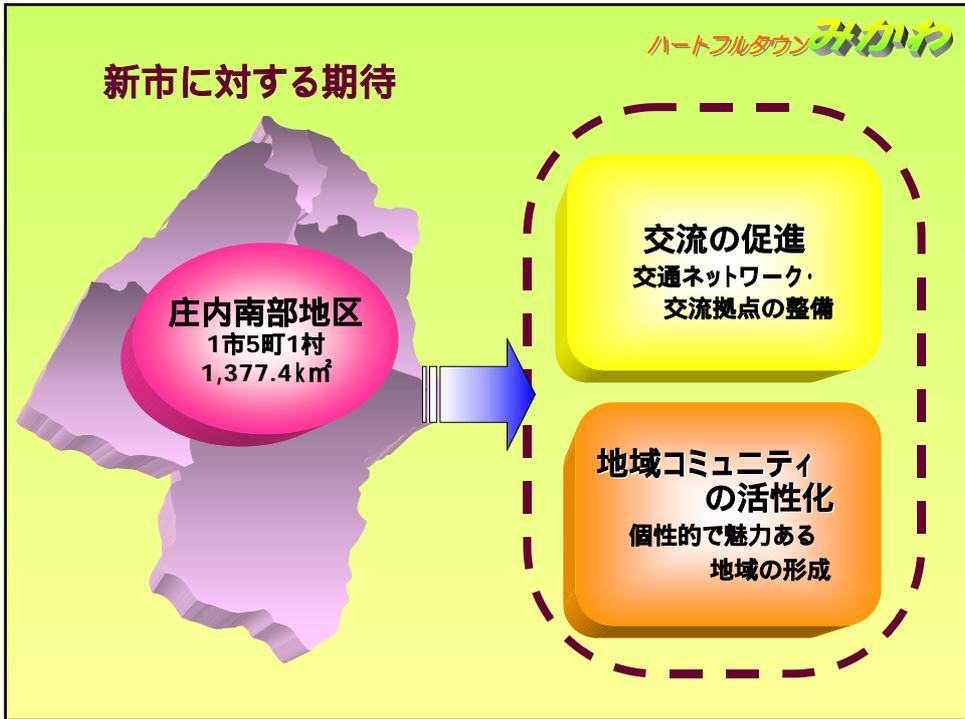
平成6年「石の来歴」で芥川賞受
賞
主な作品に「地の鳥・天の魚群」、「三つ目
の鯨」、「ノヴァーリスの引用」など
現在、朝日新聞に連続小説「新・地底旅行」
連載中

- 庄内南部地区 -

新市のまちづくりに対する期待と役割









三川町の位置付けと役割

- ◆庄内中央拠点地区の推進
- ◆広域的交流拠点の形成
- ◆産業業務拠点
(農工団地)の整備
- ◆地域資源の活用
農業振興、いろり火の里



輝く人と大地
HEARTFUL TOWN MIKAWA
ハートフルタウンみかわ

